



樹木の成長を観察（9月26日）

森林や地球環境を守ることの大切さを学ぼうと、幾寅小学校の3年生(13名)と4年生(20名)による「エジンバラ公の森観察学習」が行われました。この学習は、毎年春と秋に行っているもので、児童の皆さんは、講師を務めた上川南部森づくりセンターの村瀬所長から「森があることで私たちにきれいな空気を与えてくれて私たちを守ってくれているんです。」などと森の話があったあと、樹木の高さや太さを測り、春の観察のときからどれくらい成長したのかを熱心に調べて、記録を取っていました。



国体の難コースに挑戦（9月30日）

実行委員会の主催による、第18回はまなす国体メモリアルコンペティションカヌー競技会が落合の空知川特設カヌー競技場で行われました。スラロームとワイルドウォーターの2種目に、道内のカヌー愛好家など37人が出場して、巧みなパドル操作で難コースに挑戦しました。



昼間点灯で事故防止をPR（9月25日）

本町と占冠村、富良野市山部地区の3商工会で組織する広域連携協議会（会長：曾慶一介南富良野町商工会長）では、秋の交通安全運動週間に合わせて、山部地区から占冠村までの3区間で「デイ・ライト運動啓発パレード」を実施しました。本町では、町内の事業所などから20台の車両が参加して、ライトを点灯しながら、道の駅から市街地の国道を走行し、住民に「デイ・ライト」をPRしていました。



幾寅婦人会防火クラブが視察研修

幾寅婦人会防火クラブでは、19名の会員が参加して10月2日（火）から3日（水）にかけて視察研修が行われました。この視察研修は町内3防火クラブが毎年行っているもので、主に全道各地の防災センター、消防署等を訪れています。今回は、遠軽地区広域組合消防署佐呂間支署を訪れ、昨年11月に発生した竜巻災害について、現場で活動した隊員からスライドなどによる被害の説明を受けました。特に、婦人防火クラブに関係の深い災害ボランティア活動の話の場面では、クラブ員から活発な意見が出され、来るべきときに備え、真剣な面持ちで研修に参加していました。



国体での結果を報告（10月10日）

9月30日から秋田県で開催された「わか杉国体」のカヌー競技に北海道代表として出場した南富良野高校カヌー部の皆さんが、池部町長を表敬訪問し、国体の結果について報告しました。少年男子K-4(4人乗り)に出場した近藤賢之介君・星越諭君・深尾優貴君・樺木勇君(いずれも2年生)は、準決勝で敗退、少年男子C-1出場した鈴木勝也君(3年生)と、少年女子K-2(2人乗り)に出場した伊藤舞さんと小柴早紀さん(いずれも3年生)は、予選敗退という結果でした。池部町長からは、「やる気になればどんなことにも挑戦できるので、これからも自信を持って残りの高校生活を送ってください。」と激励していました。

カメラレポート CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。

幾寅小の6年生が交通安全を呼びかけ

（9月20日）

幾寅小学校の6年生26名の皆さんが、道の駅駐車場で街頭啓発を行いました。児童の皆さんは、交通安全などと書かれたタスキを肩にかけて、通過するドライバーににんじんやじゃがいもの袋詰と手紙を手渡し、「これからも安全運転をお願いします。」と元気に呼びかけました。また、国道沿いでは、歩道に立ち、「ゆっくり走ろう」などと書かれた旗を振り、ドライバーへ安全運転を呼びかけました。



いつまでもお元気で
（9月19日）
敬老の日を前に、特別養護老人ホーム一味園で卒寿や米寿を迎えられた入所者の皆さんをお祝いしようとお祝典が行われました。祝典では、池部町長からお祝いの記念品が贈られ、「いつまでもお元気で過ごしてください。」とお声をかけられると、入所者の皆さんは笑顔で応えていました。また、余興として幾寅寿俱樂部の皆さんから歌や踊りなどの演芸が披露され、楽しいお祝いの1日となりました。

収穫の秋を迎え、楽しく稲刈り

（9月21日）

収穫の秋を迎えて、下金山小学校と金山小学校の児童が稲刈りを体験しました。今年5月に両校で田植えを行った田んぼには、黄金色の稲が立派に育っていて、それを見た児童の皆さんは、「すごい。」と大喜び。早速稲刈り鎌を手に横一列に並んで田んぼに入り、豊に実った稲を丁寧に刈り取りました。途中、田んぼのぬかるみにはまって、手足を泥だらけになる児童もいて、大きな歓声を上げながら楽しい稲刈りとなりました。

刈り取った稲は、下金山小学校ではさ掛けして乾燥させたあと、10月24日に下金山小学校児童の皆さんにより、脱穀作業が行われました。脱穀作業では、乾燥させた稲を両手に持ち、昔ながらの足踏み式の脱穀機を使って、もみを落としました。脱穀したもみは、別の教室で乾燥させたあと精米して、12月にもちつき集会を行う予定で、児童の皆さんは、「もちつきが楽しみ。」と話していました。

